

【報告】

2000年代以降、日本は財政的に豊かでなくなり、社会が個人をじっくり抱えていく余裕がなくなった。時間をかけて考えることが難しくなり、成果を可視化することが求められている。ここでは、就労系事業を、「工賃アップと就職」という点で評価している。

しかし、目には見えないが、「障がいと付き合いながら生きる術を見つける試行錯誤」とか「孤立しないで生きるために人に慣れる」というような役割も大きい。こんなことも承知していただきながら読んでいただきたい。

1. 就労継続支援B型事業 工賃アップ

各所とも、新型コロナ感染の影響が小さかったことと、新型コロナ対策の工賃補助金があったことで、**平均工賃を伸ばした**。また各所とも、工賃2万円以上の方は複数名おり、目的に合わせた利用ができています。東京都の平均工賃（令和2年度14,777円。令和3年度15,563円）に近づいてきた。

【平均工賃】 単位：円

	2018年度	2019（R1）年度	2020年度	2021年度	2022年度
食工房	8,750	10,017	7,969	10,394	11,701
つつじが丘	10,889	12,304	11,843	15,153	15,404
田中町	9,279	9,613	10,150	13,492	15,146

2. 就職支援 就労移行支援事業と就労継続B型合わせて4名が就職した。

3. ショートステイ事業 月平均25日の利用がある。3分の2が昭島市民の利用であり、地域貢献になっている。宿直体制は、就労系事業所職員の応援により成立している。

4. 田中町移転事業 施設整備費の内示を受けた。2023年度内に竣工予定

5. 訓練等給付費収入と利用者数

【訓練等給付費収入】 年度ごと 単位：千円

	2020	2021	2022
食工房	49,054	49,123	48,719
つつじが丘	48,861	48,633	51,548
田中町	40,526	40,948	39,401
太陽と風	16,974	24,792	25,888

【1日平均利用者数】 年度ごと 単位：人

	2020	2021	2022	2022開所日数
食工房 継B	27.3	25.6	25.3	264
つつじが丘	28.8	28.3	28.8	252
田中町	20.4	20.7	19.5	256
太陽と風	12	17	17	

・就労系事業所では、作業量と施設環境から考えると1日平均利用者数を大きく伸ばすことは困難である。報酬単価があがらない中で、開所日数を増やことによって訓練等給付費収入を確保している現状がある。ニーズに合った活動の提供により利用人数を維持しつつ、収入に合わせた職員配置を行うことが経営の基本となる。しかし同時に、法人の理念実現に向けて、新規事業、新しい活動に挑戦していきたい。

6. 財政状況

- ・処遇改善補助金も使いながら、職員の給与を少しずつ改善してきた。その反面、人件費の年々の上昇により、事業所によっては予算編成が難しくなっている。
- ・財政状況は厳しいが、将来に向けて、1350万円の積立を行うことができた。大規模修繕、施設建替え、田中町建設、グループホーム建設の資金作りをたゆまず行っていきたい。

7. 会計ソフト導入 IT導入補助金を使い、会計ソフトを導入した。安藤税理士事務所とつながるウェブ会計になる。年度末には、回線速度の違いによる会計ソフトのトラブルがあり、決算完成に苦慮した。しかし、各事業所の会計担当者の会計能力はかなり強くなった。次年度からは、必要な収支状況が時間を置かずに把握できるようになる。会計の法人内実施により、財務諸表を見る力が付き経営能力はさらに高まるだろう。

8. 職場環境懇談会 ①年末調整アプリの利用が提案された。適するアプリを検討の上導入することとした。②法人共通で利用できる封筒作成が提案された。作成することにした。③施設長の業務量と勤務時間の多さ

【報告】

を改善すべきと提案された。施設長は事業全体の進行管理を行うとともに、将来の事業展開も考える立場にあることを確認した。業務内容の多さについては、現場の中で話し合って改善に取り組むことになった。法人本部としては、次期中期計画作成において、各所の業務内容と職員配置の点で考えていくこととした。

9. **虐待防止と身体拘束適正化** 対象事案にすぐ対応するために、虐待防止委員会を年2回の開催から合同職員会に合わせ隔月で開催する方向に転換した。2023年度は隔月での開催の定着化に努力したい。身体拘束適正化に関しては、適正化の方針を作成した。虐待防止研修は、事業所ごとに虐待防止マネージャーを中心にして実施し、全職員の虐待防止への意識をさらに高めた。

10. **実地検査** 2022年度は太陽と風にて行われた。文章指摘として、ハラスメント防止に関する規程の制定が指導された。他に口頭で、契約書と運営規程に不足部分があることが指摘された。

実地検査という管理的指導には創造性を邪魔する面がある。そこに注意しながら、日常の中で見落とされている不備を実地検査という機会を利用して改善していきたい。

11. 上記以外の項目ごとの振り返り

項目	前年度より進んだこと、事業計画で実現できたこと	今後の課題
サービス向上	1. コロナ感染が落ち着き、各所とも日帰り行事を実施できた。 2. アンケートを実施し、利用者の考えの把握に努めた。	
安定経営	1. 第三者評価受審（太陽と風と短期入所） 2. 業務継続計画策定進行	1. 食工房1階エアコンの更新 2. 収入－前年度の1日平均の利用者数の1%アップを目指す。 3. 業務継続計画完成・研修・訓練実施 4. 感染症マニュアル改訂・委員会設置・研修実施
人材育成	・法人主催研修 他法人事業所見学と報告会 ・研修委員会主催研修 利用者アンケート結果の検証と支援の相談	・希望の職員を含めての中期計画委員会実施 ・主任以上の経営層の女性比率を高める。
その他	1. 事業所内の整理整頓が進んだ。 2. 太陽と風がインスタによる情報発信を始めた。	1. 活動報告 食工房での掲示を継続していきたい。報告会実施していきたい。 2. 情報発信 楽しんでやれるSNSを利用した情報発信を進めたい。

12. 理事会実施状況

(日時)	(出席理事・監事人数)	(決議事項)
第1回 6月9日	7名出席	事業報告と決算、社会福祉充実計画、評議員会開催、苦情解決第三者委員選考、経理規程改正、田中町移転
第2回 2月8日	8名出席	上半期収支・補正予算、食工房施設長人事
第3回 3月28日	7名出席	事業計画、予算、相談支援センター開所日変更・自立生活支援事業申請、次期役員案

13. 評議員会実施状況

(日時)	(出席評議員人数)	(決議事項)
第1回 6月28日	7名出席	決算、社会福祉充実計画、苦情解決第三者委員案への意見聴取